

平成25年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1491900138	事業の開始年月日	平成24年3月1日
		指定年月日	平成24年3月1日
法人名	(株)ライフケア鈴栄		
事業所名	「和の里」横須賀中央		
所在地	(〒238-0011) 横須賀市米が浜通1-5-5		
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
		通い定員	名
		宿泊定員	名
	認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		工外数	2工外
自己評価作成日	平成25年1月31日	評価結果 市町村受理日	平成25年12月16日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

私たちは3つの「和」を重視して事業を行っております。
職員同士の「和」、利用者・ご家族さまとの「和」、そして地域との「和」を大切にして、笑顔と支えあいのある和の里を作り上げていきます。

私たちは笑顔と元気なあいさつで皆様に寄り添っています。
また私たちは入居者さまの生き方を尊重し、安心して自分らしく生活できる、なじみの環境を提供しています。
また、ご近所さんとのコミュニケーションを大切に、互いに支え合える居場所をめざしています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2丁目10番地 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成25年6月26日	訪問調査日	平成25年9月5日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の概要】
この事業所は京浜急行線横須賀中央駅前から徒歩7分の市中心部に位置している。6階建ての自社ビルの4階を同法人の小規模多機能施設、5階と6階をグループホームとして使用している。法人として初めての介護事業所であるが、地域に貢献したいという社長の意向で利便性の高い街中での開業に踏み切った。横須賀市では3つ目となる小規模多機能型居宅介護事業所が併設されている。法人の特性を活かし、除菌・脱臭効果に優れた「オゾン発生装置」や床暖房の設置、転倒時の衝撃を緩和できるような床の厚みを通常の3倍にするなど、設備面が充実している。

【理念に沿った支援】
「和の里」との名前通り、利用者と職員と地域とのそれぞれの和を大切にしつつ、3つの和が一つの輪となるよう皆が集える場を作りたいという理念につながっている。開所時に職員が話し合っただけで決めた理念は、玄関に掲示されている。日々の中でも感じられるよう、職員がお互いに話しあって日々実践している。

【地域との交流】
運営推進会議に町内会長や民生委員、かかりつけ医も参加し認知症の理解を深めようとしている。近隣の小学校と連携し、4年生の社会科学習の訪問先として児童を受け入れている。また学校行事や、お祭りなどへは利用者と共に楽しみながら参加している。元気な方が多く、近隣の商店やレストランに買い物や食事に出かけたりすることで、地域の方と顔馴染みになっている。海沿いの町でもあるのでビルの高さを利用し、津波の際の避難所としても、近隣にアピールしたいと考えている。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	「和の里」横須賀中央
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営						
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフ同士による話し合いにおいて、「スタッフ」「入居者」「地域」との「和」を重視して理念を作成し、その実践に努めている。	理念は開設当初、職員が共に考え決定した。「和」を理念の中心に据え、利用者、職員、地域の3つの和を大切にしている。理念は各ユニット玄関に掲示している。新人職員には面接時に説明している。		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域における行事また小学校との交流会等を活用して積極的な役割を持っている。	米が浜町内会に加入している。近隣の小学校の社会科交流として子どもたちが来所したり、小学校で開かれる行事に利用者と共に参加したりしている。諏訪神社の祭りには入居者と出かけ、町内会の神輿はビル入り口に来てくれる。		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等において地域の方との話し合いの中から認知症への理解に努めている。			
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度の会議を開催し、情報交換をする傍ら、地域や識者の方から真摯な意見をいただいている。	併設の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で市職員や地域包括支援センター職員、町内会長や民生委員、かかりつけ医、家族などの参加で2か月に1度開催している。事業報告や事例紹介などのほか、町内会長からボランティアの紹介や提案等があり、それらについて意見交換している。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	様々な面において市との連絡を行っており、指導をいただいている。	市役所から歩いて数分に位置し、相談や更新手続きの際、すぐに出向くことができるため、多方面で相談をし、指導を受けている。地域包括支援センターに毎月出向いて空き情報などを提供している。グループホーム連絡協議会や複数事業所連携事業の研修等に参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束についての研修会を行いその知識の取得と実践に努めている。	入職時に研修を行うほか、昨年12月に職員全員に身体拘束にあたる行為の一覧表を配布し、レポート提出を求め理解を深めた。市の虐待防止の研修会に出席し、7月には内部研修で職員に周知する予定である。玄関はセンサーによって出入りを確認し、外出したい利用者には付き添って外出している。日中はできるだけ開錠している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について研修会を行い、また市における研修等にも参加し新しい情報の取得に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	今年度より、市の研修に参加した内容を事業所内研修で周知する計画を立てている。 (7月実施予定です)		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約において丁寧な説明につとめ、ご家族に納得いただいている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を開催し、意見の聴取に努めている。また普段のご家族の来所の際にも、要望や意見の取得に努めている。	意見や要望は個別に職員が聞く場合が多く、回答は管理者から家族に行く。面会や来所時に声掛けするほか、12月に家族を呼んでクリスマス会を行い意見を聞いた。今後は行事等で家族交流の場を設け、積極的に意見交換を行う計画である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者会議、フロア長会議、フロア会議を設けて様々な提案を促すとともに、建設的な意見については速やかに実施できるような体制を維持している。	月に1回フロア会議を行い、原則全職員が参加している。議事録は全員に回覧し確認している。やむなく欠席する職員は事前にレポートを提出することでカンファレンス等も参加している。職員の意見でラジオ体操や入浴時間を見直し変更した。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	開設1年目ということもあり、事業所としての業態を確立させるとともに、職員個々の要望に応えることができるよう、条件の整備に努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会が開催している、職員研修に参加させ、その見識を深めるとともに、機会あるたびに研修参加を呼び掛けている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	GH協議会が開催する事業への参加、または事業者に対する訪問等を経て職員の意識向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居において本人の不安を把握するとともに、ご家族の協力を得ながら、可能な限り本人の理解を得られるような取り組みを行っている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居に際し、ご家族の不安を聞き取り、本人の新生活を共に支え合うよう連絡体制を密にとっている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の思いを大切に、新たな生活を円滑に進めることができるよう、職員全員で対処している。GHにおいては保険が完結しているため、他のサービスについてはご家族と十分な意見交換を実施している。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	お手伝いや買い物、外出や外での活動など、生活の様々な場面で、その方に合った支援を行い、本人の自主性を重んじている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	法事、成人の祝い、旅行などご家族から支援をいただき、本人の活動の幅を広めていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がしてきた活動やカラオケなど、なじみの方の来所を歓迎している。またバス旅行にも参加してもらっている。	入所前からの行きつけの喫茶店に、月に2～3度職員と一緒にいく利用者がいる。また駅に近いので元会社の同僚や近隣の友人、家族の訪問も多い。商店街も近いので、買い物等に職員と共に行くことができ、利用者は好みのものを購入している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者においては、おおむね状態がそろっており、協力的である。生活のリズムや外出などにおいても、利用者同士の関係を大切にしている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された方に対しても、時折連絡を取っており、その方との関係を大切にしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居されている人は誰でも、自分が住んでいた家を忘れることはできない。GHでの生活がもう一つの家だという発想で、本人の思いを尊重して支援をしている。	入居前に自宅でアセスメントをとり、3か月後に再度アセスメントを取り直している。長い間一人暮らしをしてきた方の希望を聞き、最初は個室で食事をとりながら、無理なく集団で食事がとれるようになるまで待った。また、たばこの好きな入居者には屋外で職員と共に喫煙の時間を設けている。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者さんとの何気ない会話の中から、本人の暮らしぶりや現役時の仕事の話等を伺い、職員どうしで交換してその把握に努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各人の生活について記録を作成しており、体調や心理状態、ご家族との対応等一人ひとりについて把握するよう努めている。		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月ごとにフロア会議を開催し、モニタリング、体調等の変化について見解を出してもらい、介護計画に反映させている。	定期的にモニタリングを行い計画を評価し、6か月ごとに介護計画を見直している。月に1度フロア会議で全員のカンファレンスを行うほか、介護計画変更時には出席者でサービス担当者会議を開いている。家族には来所時に説明し、同意を得ている。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人の記録を毎日採っており、体調や心理状態の変化について職員どうし意見交換をおこなっている。またこれらを総合的にまとめケアプランに反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	GHにおいてはサービスが完結しているため、その他のサービスにおいては本人の意向やご家族の希望を聞いて、必要に応じて実施していく。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出の機会を多く設け、地域にある商業施設や公園を利用し、気分転換や新たな刺激を得られるよう支援している。		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	これまでのかかりつけ医がある方はそれを継続して頂き、情報提供や往診時の対応を行なっている。かかりつけ医がいない方については近隣の診療所などの提案を行い相談の上実施している。	ほとんどの入居者は、近隣にあり往診可能な当事業所の協力医にかかりつけ医を変更している。以前からのかかりつけの精神医に往診を受ける利用者も多い。そのほかの診療科は今までのかかりつけ医に、家族が同行し受診している。	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	グループホームには看護師配置なし。介護職員が日々の関わりの中で異常の早期発見を行い、かかりつけ医へ連絡。外部の医師や看護師との連携を密にしている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は新たな病院ではなく、以前治療をしていたいただいた病院をお願いしている。また病院においてもそのほうが受け入れやすいのではないかと感じている。 入院時は少なくとも週に1度は訪ねてその経過を関係者からうかがっている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>現状看取り体制は出来ていないが、実施する方向で検討中。</p>	<p>開所間もないため、看取りの方針や指針等は作っていない。法人としては、いずれ必要になったら最後まで看取りができる体制を作っていきたいという希望をもっている。具体的な研修等はまだない。</p>	<p>身近な問題として看取りの指針を取りまとめることが、入居の目安にもなります。職員の研修と共に、ご家族とも方針を共有できるよう話し合いを行うことを期待します。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>利用者の急変について、対応の検討を加え、実際の動きについて訓練を行っている。また警報装置の取り扱いについて業者から直接研修を受けている。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>連絡体制の確保のため、171の使用方法や実際の体験を通じて、災害に強い施設むけた取り組みを行っている。</p>	<p>4月に同ビル内の他事業所と共に、ビル全体の合同消防訓練を行った。職員のみ参加であったが、火災報知器会社の担当者と共に消火器の扱い方や消防署への通報、避難誘導などの訓練を行った。当日欠席の職員には後日、防火管理者が個別に指導した。食料や水2ユニット分を5階に一括して備蓄している。</p>	<p>近隣の商店街やビルとも災害避難訓練についての連携を模索するとともに、備蓄も3日以上を確保できるよう期待します。夜間を想定した訓練も利用者と共に行うことを期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	定期的に接遇研修を行い、意識の向上に努めている。	アセスメントの中から生活歴などを考慮し、一人ひとりの人格をそこなわない様な言葉かけを心掛けている。利用者が失敗したときに、思いを汲んで言葉かけができるよう、5月のスタッフミーティングで接遇の研修を行った。個人記録は鍵のかかる書庫に保管している。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	買い物や外出・理美容など、本人の意向に合わせて対応を取っている。コーヒーが好きな方、カラオケが好きな方等、対応できていると考えている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	喫煙や飲酒、または外出され、帰宅時間が伸びてもその方の気持ちを優先し、柔軟な対応ができている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入浴時の髭剃りや、理容や美容の手配など、日常の身だしなみに留意し、その日の生活を楽んでもらっている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事での会話を楽しんだり、食事が進むようお手伝いをしたり、食後の片づけをお願いして楽しい時間を過ごしている。	献立付の食材配達サービスを利用し、調理は職員が行っている。月1~2回はイベントとしてホットケーキやいなり寿司を利用者と一緒に作り楽しんでいる。近隣のレストランでの外食も行っている。当日は食事中に職員が後片付けをしていた。	利用者にとって食事は毎回がイベントなので、利用者と職員が楽しめるよう、同じテーブルで「時間」を共有されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食材会社から提供された食事をおいしく作って、栄養摂取を図り、水分の記録もこまめにしながらその方に合わせた支援をしている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎回の実践を通じて口腔ケアに努めている。		
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各利用者に対して排泄の時間帯を把握し、失敗をなくすよう声掛けに取り組むとともに、自然な排泄ができるよう支援している。	ほとんどの方が自立しており、介助の必要な利用者はほとんどいない。失敗を防ぐためにもチェック表を作り、声掛け等を行っている。本人の希望で夜中に声掛けをしている利用者もいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の体操や外出を通じて体を動かす工夫に取り組むとともに医師との相談を頻繁に行い、便秘が無いよう取り組んでいる。		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	一人一人について、タイミングを合わせて入浴を楽しんでもらっている。 本人の嗜好を把握して、その人の希望に合った入浴に取り組んでいる。	2日おきに入浴ができるよう、配慮している。午後入浴時間を職員の提案で午前にし、ゆったり入浴できるようにした。ゆずや菖蒲などを利用者家族からもらった際に浴槽に入れたところ利用者が喜んでくれたことがあった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝が好きな人、体力的に臥床を要する人を的確に把握し、その方に合わせた支援をしている。また昼夜逆転にならないよう努めている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の処方がしばしば変わるため、そのたびごとに薬の効能や服用後の体調についてモニターをしている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	編み物が好きな人は、これを楽しんでもらい、カラオケが好きな人は機会を設け楽しんでもっている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節ごとの行事、または日常的な外出の機会を設けその記録をとっている。	散歩は1日数回に分けて、できる限り外出できるよう配慮している。外出行事も多く、三浦半島や鎌倉などに法人の車で出かけている。近隣に観光地が多い点も楽しみの一つとなっている。個別に近隣の店での買い物や家族との外出等、外出の機会が多い。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭所持ができる方については本人の責任で自由に使っていただき、ご家族にも理解をいただき、トラブルの発生はない。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の導入は自由であり、5名の方が使用している。またご家族とのお手紙の支援も行っている。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	市の中心部にあるGHであるが、可能な限り静かな環境が保たれるよう配慮されている。また空気の循環や臭いなど心地よい生活ができるよう工夫されて施行が施されている。	全フロアはバリアフリーとなっており、木のぬくもりを活かした内装となっている。白い壁は清潔で明るい雰囲気を出している。オゾン発生装置や、収納スペースを多く取った間取り、床暖房など、設備面が工夫されている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人になりたいときは、居室や事務室前の椅子を使ってもらったり、居室に自由に出入りしてもらったりと居場所の確保に努めている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が使いやすい家具やベッドなどご家族が選んだなじみの品物を入れてもらっている。	各居室の窓にはブラインドがついており、夜の街中のライトが気にならない工夫をしている。ベッドやたんすのほか、仏壇や机、ビデオ装置やスタンドなど、入居者は家族と相談して、好みのものを持ち込んでいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	緩衝作用を持つ床材を使用し、手すりの設置や曲り角の緩衝材など安全に気を使った工夫をしている。また使用しやすいドアや収納空間を広く設けて安全で自立した生活のための空間づくりに配慮している。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 「和の里」横須賀中央 GH

作成日 25年12月2日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りの方針や指針が無い	看取りの方針を決め、御家族との共有を図る。	①看取りについてアンケートを実施し家族の意向を把握する。②社内会議にて方針を決定する。③家族会を実施し、説明・周知を図るとともに意見を募る。	①3ヶ月 ②6ヶ月 ③6ヶ月
2	35	災害時の対応を強化する必要がある（災害時の備蓄品不足・夜間訓練未実施・地域との連携）	災害時に必要な対応が出来る体制を整える。	①3日分以上の生活が可能な備蓄品を用意する。 ②夜間想定避難訓練の実施 ③運営推進会議にて町内と協議する。	①3ヶ月 ②6ヶ月 ③3ヶ月
3		食事を楽しめるための工夫が必要	食事を楽しめる環境作り（職員全員が一緒の食卓を囲むよう指導ありましたが、一日の業務の流れもあるため全体的に判断していきたいと思えます）	①おかずの取り分けを一緒に行う ②食事中に片付けの音などで不快な思いをさせないよう配慮する。	①実施済み ②1ヶ月
4					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。